国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和６年３月４日
東北地方整備局

「東北圏のみらい」の提言、活躍する若者世代の公開座談会を開催

東北圏広域地方計画策定に向けて東北圏で活躍する若者世代からの意見を聴取する場として一般公開の座談会を開催いたします。

開催日時等

１ 日　　時　令和6年3月18日（月） 14時00分～16時00分

２ 会　　場　「侍屋敷 大松沢家」（Web併用）
（岩手県胆沢郡金ケ崎町西根達小路2−2）

３ 取　　材　座談会は公開にて行います。
取材を希望される方は、別添「取材登録書」をご確認ください。

４ 参 加 者　【コーディネーター】
青森大学社会学部　准教授　石井 重成 氏
【パネリスト】
一般社団法人十和田奥入瀬観光機構　安藤 巖乙 氏
北上巣箱　深津 咲奈 氏
株式会社巻組　渡邊 享子 氏
株式会社大潟村松橋ファーム　松橋 拓郎 氏
ツキノワ合同会社　伊東 優 氏
任意団体なみとも　小林 奈保子 氏
デザイナー×農家キッチンカー運営　長野 美鳳 氏

５ そ の 他　一般申込（事前登録制・先着20名程度）　申込締切：3月14日（木）17時

次　第　（予　定）

◇ **開会挨拶**
◇ **話題提供　～国土形成計画とは～**
◇ **パネルディスカッション**

＜発表記者会＞
青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、
山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、新潟新県政記者クラブ、
東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問い合わせ先】
国土交通省　東北圏広域地方計画推進室（東北地方整備局内）
電話：022－225－2171（代表）
企画部　企画課　　課長補佐　葛西　弘樹　（かさい　ひろき）（内線3156）
建政部　計画管理課　課長補佐　今野　和也　（こんの　かずや）（内線6132）

国土交通省　東北圏広域地方計画推進室

「東北圏のみらい」の提言、活躍する若者世代の公開座談会
取材登録書

令和6年3月18日（月）に開催する上記座談会につきまして、取材を希望される報道機関におかれましては、会場設営及び配布資料の準備等のため事前に登録をお願いします。当日は開始15分前までに会場へお越しください。受付は30分前から行います。

なお、会場の席数に限りがございますので、Webによる傍聴及び取材も受け付けております。希望される場合は個別にご相談ください。

登録申込期限：3月14日（木）17：00まで

1　報道機関名（会社名及び部署名）

2　氏名等

ご氏名 （複数で出席される場合は 代表者のみで結構です。）	連絡先 （当日連絡可能な携帯電話等）	人数 （代表者を含む）	来場手段 （いずれかに〇）
			・公共交通機関 ・車

3　日時等

３月１８日（月）	会場及び時間
会議終了まで入室可能です。	岩手県胆沢郡金ケ崎町西根達小路２－２ 「侍屋敷 大松沢家」 １４時００分～

4　送付先

E-MAIL：thr-kou-suishin2@ki.mlit.go.jp

（国土交通省　東北圏広域地方計画推進室あて）

東北圏広域地方計画に期待する「東北圏のみらい」の提言、活躍する若者世代の公開座談会

2024
3.18（月）
14:00
▼
16:00

Zoomウェビナーによる生配信あり

会場　侍屋敷 大松沢家（岩手県胆沢郡金ケ崎町）



プログラム

- 開会挨拶
- 話題提供～国土形成計画とは～
- パネルディスカッション

テーマ1.　東北圏の魅力と課題

テーマ2.　わたしと東北圏の未来

主催　東北圏広域地方計画推進室

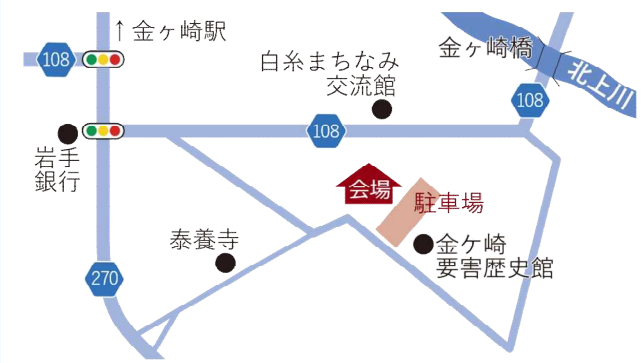
後援　岩手県
金ケ崎町
一般社団法人　東北経済連合会

開催趣旨

令和5年7月に「第三次国土形成計画（全国計画）」が策定され、国土の将来ビジョンが示され、東北圏においても2050年さらにその先の長期を見据えつつ、今後概ね10年間を計画期間とした将来像を示す「第三次東北圏広域地方計画」を策定する予定です――――

今般、東北圏の7県でご活躍されている若者世代の方々をお招きし公開の座談会を開催します。若者が思い描く、これからの東北のあるべき姿「東北圏のみらい」の提言を発信します――――

会場位置図　（岩手県胆沢郡金ケ崎町西根達小路2-2）



※車でお越しの方は、金ケ崎要害歴史館の駐車場をご利用ください。

コーディネーター、パネリストについては裏面をご確認ください。

コーディネーター



青森大学 社会学部　准教授
石井 重成（いしい かずのり）

経営コンサルティング会社を経て、東日本大震災を機に岩手県へ移住。その後、青森大学に拠点を移し、自治体・中間支援団体・企業の事業組織開発や人づくりを支援。総務省地域力創造アドバイザー、環境省地域循環共生圏プラットフォーム事業アドバイザー、国土交通省東北圏広域地方計画有識者委員など就任。

パネリスト



一般社団法人十和田奥入瀬観光機構
地域マネジメント部長
安藤 巌乙（あんどう いわお）

東京大学文学部言語文化学科仏語仏文専修課程卒業。卒業後は日本の文化を発信する雑誌『Discover Japan』編集に携わったのち、環境省十和田八幡平国立公園管理事務所国立公園利用企画官への転職を機に十和田湖に移住。任期満了を機に一般社団法人十和田奥入瀬観光機構へ転職。



北上巣箱　代表
深津 咲奈（ふかつ さきな）

岩手県北上市の地域おこし協力隊に着任し、東京都から移住。「スポーツツーリズムプロデューサー」として、廃鉱山の遺構を巡るトレッキングイベントを主催。現在は「北上巣箱」の屋号で、ガイド業を営んでいる。子供からシニアまで幅広い世代に向け、豊かな自然を楽しむ体験や地域の方との触れ合いを提供している。



株式会社 巻組　代表取締役
渡邊 享子（わたなべ きょうこ）

東日本大震災をきっかけに宮城県石巻市へ移住。資産価値の低い空き家を買い上げ、クリエイターをターゲットとした大家業をスタート。現在は地方の不動産が流動化する仕組みづくりを模索中。「日本都市計画学会計画設計賞」や「第7回DBJ女性新ビジネスプランコンペティション」で「女性起業大賞」など受賞多数。



株式会社大潟村松橋ファーム
代表取締役
松橋 拓郎（まつはし たくろう）

北海道での農業研修・東京の八百屋での研修を経て、故郷の秋田県大潟村で就農。農業を自分事にというコンセプトに、秋田県の福禄寿酒造株式会社の協力を得て「農家とつくる日本酒プロジェクト」をスタートする。(株)杢設立発起人、(株)すとろーるーぷ取締役。



ツキノワ合同会社　代表社員
伊東 優（いとう ゆう）

建築設計事務所を経て独立。翌年、東京大学生産技術研究所の特任研究員として、大学施設の設計や3Dプリンタを用いた建築物の開発に携わる。その後、山形県西川町に移住し起業。地方創生に向けた場の企画・設計・運営を一気通貫で行う。また、東京大学大学院博士課程で数理的手法によるまちづくりの研究を行っている。



任意団体なみとも　代表
小林 奈保子（こばやし なおこ）

地元福島県田村市での復興支援員事業でコミュニティ再生サポートやボランツアーづくり・企業のCSR活動のコーディネートなどを行う。震災後、一部避難指示解除と共に福島県浪江町に移住。「なみとも」を設立し、町民と移住者の交流事業等に携わる。現在は子育てをしながら子育て応援の「cotohana」の共同代表を務める。



デザイナー×農家キッチンカー運営
長野 美鳳（ながの みほ）

新潟県燕三条地域にてプロダクトデザイナーとして就職。包丁ブランドの製品開発、ブランディングに携わる。デザインの傍ら、実家の農業の販路拡大のため、農作業やマルシェ出店を始める。その後、家の農作物や生産者から仕入れた産品を使ったキッチンカーをスタート。独立後の現在は、岡山と新潟で2拠点生活をしながら生活。

参加申し込み

座談会の参加は事前登録制となっており、会場（先着20名程度）又はWEBにより参加可能となっております。右のＱＲコードの申込フォームから必要事項を入力のうえ送信ください。

〔申し込み期限〕 ３月１４日（木）まで
〔問い合わせ先〕
東北地方整備局 東北圏広域地方計画推進室
（東北地方整備局建政部計画管理課）
TEL: 022-225-2171
Mail: thr-kou-suishin2@ki.mlit.go.jp